

1. 科目名(単位数)	心理演習 (2単位)	3. 科目番号	PSMP3355
2. 授業担当教員	大島 朗生		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	臨床心理学概論、心理学的支援法(基礎/演習)、精神疾患とその治療、心理的アセスメント、関係行政論のすべてを履修済みであること。		
7. 講義概要	<p>本科目は、公認心理師国家試験受験資格の要件となる心理実習を行うための準備として、具体的場面を想定した心理支援に関する知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とする。そのために、次の(ア)から(オ)について、基本的な知識を修得し、また具体的な場面を想定した役割演技(ロールプレイング)、事例検討を行う。</p> <p>(ア)心理に関する支援を要する者等に関する次の(1)から(4)の知識及び技能の修得 (1) コミュニケーション、(2) 心理検査、(3) 心理面接、(4) 地域支援 等 (イ)心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援の計画の作成 (ウ)心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ (エ)多職種連携及び地域連携 (オ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解</p>		
8. 学習目標	<p>(ア)心理に関する支援を要する者等に関する次の(1)から(4)の知識及び技能を修得する (1) コミュニケーション、(2) 心理検査、(3) 心理面接、(4) 地域支援 等 (イ)心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握について基本的な知識を修得し、支援の計画の作成について架空事例の検討を通して学ぶ。 (ウ)心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチについて理解する。 (エ)多職種連携及び地域連携について理解し、説明できるようになる。 (オ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解ができる。</p>		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	シラバスに提示したテーマに添って授業を進めるので、各テーマについて予習を行うこと。理解の確認のために、小テストやワークの提出などを含め、授業内レポートを課す。記録作成に慣れるために、授業報告書の作成を毎回課す。心理演習を受講する場合、授業時間外に毎週作成に2時間程度を要する課題が出る。かなり負荷がかかる科目であるということを理解して受講すること。		
10. 教科書・参考書・教材	教科書は指定しないが、参考書は授業内にて随時紹介する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 学習目標にあげた(ア)～(オ)の5項目について、基本的な知識の修得、ならびにロールプレイングや事例検討への積極的な参加を評価する。</p> <p>○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢50%、課題レポート50%で判断する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	本授業で示す内容は、多くの理論や実践の一部に過ぎませんので、より深く広い知識を得るためには、各人で書籍や論文を探して、学習を進めることを期待します。また、授業で発言したり、考えの発表に努めたりすることは、学習理解だけでなく心理実践に繋がりますので、積極的に参加することを望みます。日々の思索や継続的な実践により、自己理解も進めてください。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション/授業の全体像についての確認	事前学習	シラバスを確認して、授業の方向性を確認しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第2回	支援の形式と具体例①: コンサルテーション・ガイダンス、ケースワーク	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第3回	支援の形式と具体例②: カウンセリング、サイコセラピー	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第4回	心理的介入への導入①: インテーク面接、アセスメント面接	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第5回	心理的介入への導入②: 面接構造/治療構造、危機介入	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第6回	個人への介入①: 理論モデル(精神分析、行動療法、来談者中心療法、認知行動療法等)	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第7回	個人への介入②: 技法モデル(遊戯療法、箱庭療法、夢分析、フォーカシング等)	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第8回	集団への介入: 家族、集団、グループ、コミュニティ	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第9回	心理検査を読む① テストを読む(質問紙法、投射法、知能検査、人格検査等)	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第10回	心理検査を読む② テスト・バッテリーを読む	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第11回	発達の視点と支援①: 乳幼児期	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする

第12回	発達の視点と支援②：児童期・思春期	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第13回	発達の視点と支援③：成人期	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第14回	多職種連携や地域連携、心理職が活躍する領域	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする
第15回	公認心理師の職業倫理と法的義務	事前学習	取り扱うテーマについて、予習しておく
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートする